

令和7年秋の叙勲・褒章受章者

11月3日に叙勲受章者及び褒章受章者が発表され、以下の会員が栄に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲受章者の横顔



旭日双光章（弁理士業務功労）

ふくしまみつお
福島三雄

学歴・職歴

昭和48年 昭和48年愛媛大学工学部生産機械工学科卒業
昭和49年～昭和59年 倉内特許事務所勤務
昭和60年～現在 福島国際特許事務所

弁理士会歴

昭和54年 弁理士登録（8531）
平成元年度 意匠委員会 副委員長
平成元年度～平成2年度 弁理士会常議員
平成元年度～平成3年度 近畿支部 幹事
平成3年度 意匠委員会 副委員長
平成10年度 近畿支部 幹事
平成12年度 民間業者による知的所有権登録等対策委員会 副委員長
平成13年度 弁理士倫理委員会 副委員長
平成15年度～平成16年度 商標委員会 副委員長
平成20年度～平成21年度 近畿支部 副支部長
平成23年度～平成24年度 綱紀委員会 副委員長
平成27年度 日本弁理士会監事
平成28年度 日本弁理士会副監事長
平成29年度 日本弁理士会副会長
令和4年度 日本弁理士会執行理事
令和5年度～令和6年度 日本弁理士会常議員
令和7年度 関西会 監査役
令和7年度 紛議調停委員会 副委員長

公職

平成13年～平成19年 大阪工業大学 非常勤講師

賞

平成7年 弁理士会特別功労表彰
平成22年 日本弁理士会特別功労表彰
平成22年 日本弁理士会永年功労表彰
平成30年 日本弁理士会特別功労表彰
令和元年 弁理士制度120周年記念式典特別功労者表彰
令和7年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

このたび令和7年秋の叙勲に浴し、身に余る光栄に存じます。これもひとえに日本弁理士会、特許庁はじめ、皆様方のご指導ご支援の賜物と感謝申し上げます。

思い起こせば大学卒業後、会社において特許明細書を読む機会があったことから、弁理士という職業を知ったのが、今に至る出発点となり、弁理士として45年間知財に関する業務に携わることとなりました。しかも勤めた特許事務所において、特許や実用新案はもとより意匠や商標の調査から事務処理まで広範に関与させていただいたおかげで、事務所開設後、いずれの法域の業務にもあまり抵抗なく対処でき得たものと感謝しています。

弁理士会では意匠委員会に所属したのが始まりです。意匠の権利範囲の考え方が特許とは違う点に興味を惹かれたのがきっかけだったと記憶しています。その後、近畿支部の幹事等を務めるとともに多くの委員会等に関与させていただきました。

平成27年度の監事を務めたのち平成29年度に渡邊会長のもとで副会長を務めさせていただきました。そして、この年に大阪にINPITが開設されるとともに、近畿支部が関西会と改称されることが認められるなど関西の知財の転換点に立ち会わせていただいたのは感慨深いものがあります。

今回の受章を機に改めて皆様に感謝申し上げますとともに、これからも微力ながら尽力させていただく所存ですので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



旭日双光章 (弁理士業務功労)

おさ ない ゆき お
長 内 行 雄

学歴・職歴

昭和 54 年卒業 日本大学法学部法律学科
(現在) 弁理士法人アテンダ国際特許事務所

弁理士会歴

昭和 56 年 弁理士登録 (8786)
平成 3 年度～平成 4 年度 弁理士会常議員
平成 5 年度 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 7 年度 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 8 年度 特許制度運用協議委員会 委員長
平成 9 年度 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 12 年度 GATS 等検討委員会 副委員長
平成 15 年度 例規委員会 副委員長
平成 18 年度 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 21 年度 日本弁理士会副会長
平成 24 年度～平成 25 年度 知的財産支援センター 副センター長
平成 26 年度 日本弁理士会副監事長
平成 27 年度 日本弁理士会監事長
平成 31 年度 審査委員会 委員 (部長)
令和 2 年度 審査委員会 委員長
令和 3 年度～令和 4 年度 審査委員会 委員 (部長)
令和 5 年度～令和 6 年度 日本弁理士会常議員

公職

平成 23 年 工業所有権審議会試験委員
平成 24 年 工業所有権審議会試験委員
平成 30 年度～現在 日本司法支援センター評価委員会委員

懇談会等

平成 16 年度 日本弁理士会と特技懇との懇談会 委員長

賞

平成 9 年 弁理士会特別功労表彰
平成 22 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 24 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 25 年 日本弁理士会感謝状
平成 28 年 日本弁理士会特別功労表彰
令和 元年 弁理士制度 120 周年記念式典特別功労者表彰
令和 7 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

令和 7 年秋の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これもひとえに家族を含め、私を支えてくださった皆様方のお陰と心より感謝申し上げます。

振り返りますと、大学校舎内で「弁理士」というなじみのない文字が記載された看板 (特別研究室弁理士科) に足を止めたところ、そこに受験指導のため大学に訪れていた弁理士の方から受験をお誘いいただいたことが、弁理士を目指すきっかけであったように思います。

その後、何度かの受験を経て弁理士となり特許事務所に勤務することになりましたが、いかんせん実務経験がなく、しばらくは事務所所長から教をいただきながら、一つ一つ仕事をこなすのが精一杯でした。

このような有り様でしたので、事務所の仕事の他に弁理士会の活動に携わることなど思ってもみませんでした。私が加入していたクラブからの勧めもあり、

弁理士の委員会に参加させていただきました。

その後、多くの委員会に参加させていただき、さらには弁理士会副会長に就任させていただきましたが、これも皆クラブの方々のご支援や当時の事務所所長が弁理士会活動に寛容に接して下さったからこそであり、厚く御礼を申し上げる次第です。

古希を超えたとはいえ、まだまだ未熟者です。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



旭日小綬章（弁護士業務功労）

やま もと こうたろう
山 本 光太郎

学歴・職歴

昭和 58 年 一橋大学法学部卒業
昭和 60 年 弁護士登録（第一東京弁護士会。登録番号 19478）
平成 3 年 ニューヨーク州司弁護士登録
平成 16 年 最高裁判所司法研修所民事弁護教官（至同 19 年）
平成 24 年 日本弁護士連合会常務理事・第一東京弁護士会副会長
平成 30 年 最高裁判所司法修習委員会幹事
（現在） 山本柴崎法律事務所

弁理士会歴

平成 3 年度 弁理士登録（10112）
平成 10 年度 GATS 等検討委員会 委員
平成 14 年度 例規委員会 委員
平成 26 年度 日本知的財産仲裁センター 運営委員長
平成 27 年度 日本知的財産仲裁センター センター長

賞

平成 28 年 日本弁理士会永年功労表彰

受章に浴して

令和 7 年秋の叙勲の榮譽に浴し、誠に身に余る光榮に存じます。これは偏に皆様方のご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

私が弁理士登録したのは、平成 3 年 2 月のことでした。当時に所属していた法律事務所において特許、商標に関連した業務をしていたところ、弁理士登録をして弁理士の研修を経た上で弁理士として出願業務を行いたいと希望したのが登録の理由でした。平成 6 年に独立して自分の事務所を運営するようになってからも、弁理士登録を継続して今に至っております。弁理士登録を継続させるための弁理士会研修は、大変な思いでこなしてまいりましたが、とても有益な研修であると思っております。

弁理士会の先生方と強い関係を築いたのは、日本知的財産仲裁センターの運営委員を務めたことでした。同センターの運営委員会は弁理士の運営委員と弁護士の運営委員で構成されており、月に一度の運営委員会で同センターの運営方針について弁理士の先生方と真摯な議論を継続しておりました。また、審査業務、シンポジウムの開催など種々の活動において弁理士の先生と協力して参りました。平成 27 年には運営委員長に引き続き、同センターのセンター長を務めることにもなりました。

このようなご縁を通じて、今回叙勲の榮譽に浴することができましたことに改めて皆様に心から御礼申し上げたいと存じます。また、今後もご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



瑞宝小綬章（経済産業行政事務功労）

てらもとみつお
寺本光生

学歴・職歴

昭和 53 年 東京大学工学部資源開発工学科卒業
昭和 53 年 特許庁入庁
昭和 57 年 審査第四部審査官（金属）
昭和 63 年 在ミュンヘン日本国総領事館領事
平成 6 年 審判部審判官（第 24 部門金属）
平成 10 年 社団法人発明協会 アジア太平洋工業所有権センター 部長
平成 13 年 特許審査第三部上席総括審査官（セラミックス）
平成 14 年 特許審査第三部審査監理官（金属電気化学）
平成 16 年 審判部審判長（第 14 部門繊維包装機械）
平成 20 年 審判部第 11 部門長（運輸）
平成 22 年 審判部第 18 部門長（金属加工）
平成 23 年 特許庁退官
（現在） 弁理士法人志賀国際特許事務所

弁理士会歴

平成 23 年 弁理士登録（17580）

受章に浴して

令和 7 年秋の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。様々な職場でお世話になった皆様のご指導、ご鞭撻のおかげであり、心より感謝申し上げます。

私は大学卒業以来ずっと特許の仕事をしてまいりました。一生涯を貫く仕事を持てたことは幸運なことだったと思います。特許の仕事が好きであった、少なくとも嫌いではなかったということもあると思いますが、さまざまな職場で良き同僚や良き上司に恵まれたおかげだと思います。（私自身が良き同僚あるいは良き上司であったかどうか心もとないのですが。）

特許の仕事は専門的で限られた分野のように思われますが、実際は大きな広がりや奥行きのある世界でした。また、同じものでも役所から見る景色と弁理士となって外から見た景色はずいぶん違うものです。そのような中で怠け者の私が何とか仕事をしてこられたのは、周りにいた方々の助けや家族の支えがあったからだなあとしみじみと思っています。

私は特許以外のことはよく知らないのですが、今後も多少なりとも世の中のお役に立てることがあれば望外の幸せだと思っています。本当にありがとうございました。



瑞宝小綬章 (経済産業行政事務功労)

こ ばやし ひとし
小 林 均

学歴・職歴

昭和 54 年 京都大学工学部資源工学科卒業
昭和 55 年 京都大学大学院工学研究科資源工学専攻修士課程中退
昭和 55 年 特許庁入庁
昭和 59 年 特許庁審査官 (特許審査第四部塑性加工)
昭和 59 年 国土庁長官官房総務課
平成 元年 総務部特許情報企画課
平成 5 年 総務部特許情報管理課
平成 7 年 特許庁審判官 (審判部第 4 部門塑性加工)
平成 16 年 特許審査第三部高分子審査長
平成 17 年 特許審査第三部有機化学上席審査長
平成 20 年 特許審査第三部無機化学首席審査長
平成 21 年 審判部第 24 部門 (高分子・プラスチック工学) 部門長
平成 24 年 特許庁退官
平成 24 年 特許業務法人むつみ国際特許事務所入所
(現在) 弁理士法人お茶の水内外特許事務所

弁理士会歴

平成 24 年 弁理士登録 (18176)

受章に浴して

令和 7 年秋の叙勲の榮譽に浴することができましたのは、ひとえに特許庁、日本弁理士会を初め、皆様方のご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

私は、特許庁において、主として化学分野の審査、審判業務に従事いたしました。その間、特許情報といった審査業務とは異なる部署の業務にも従事し、また、国土庁という特許庁外の組織に勤務することで、大変貴重な経験をすることもできました。

私が特許情報に関わっていた当時、特許情報はまだ紙が中心で、情報を伝達する手段としては FAX 等の電話回線を通じた手段しかない時代であり、今日のコンピュータの進歩、インターネットの普及により、必要な情報を簡単に検索できたり、大容量の情報を瞬時に検索やり取りできるようになるとは想像できませんでした。また、今日の特許情報プラットフォーム、Espacenet 等のように、特許情報が無料で簡単に検索・入手できるようになったことにも驚きを感じます。

平成 24 年に特許庁を退職し、弁理士として働き始めて早や 14 年近くが経過しましたが、これからも微力ながら知的財産制度のさらなる発展を支援したいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。